

# AMUSEMENT SQUARE stage

演劇空間スペースベン

## 生徒諸君！

〈プラスワンシアター主催・安達良春〉

全くの私事ですが、最近バタバタしており「観たい！」と思っていた公演を2本見逃してしまっただ。時期はちょっと離れていたが、個人的に「これを観ずして八戸の演劇を語るなれ」と思っていたのに、仕事に勝てず泣く泣く断念した。どんなに悔やんでも、もう観る事はできない。残念だ……。

いや、愚痴は言うまい。誰しも同じ時間の中で（多分）公平に生きているのだから。

そんな中、久しぶりに高校生の芝居を観た。縁あってパンフレット制作の仕事をお願いした事もあって、当日会場へ足を運んだ。おそらく5年以上高校演劇は観ていなかったものでホントに久しぶり。オリジナル脚本2本の自主公演。途中休憩をはさんで1時間半ぐらいだったろうか。見終わって感想を書こうとして、凄く悩んだ。何を書けばいいのか、何を書いてあげればいいのか、何を書くべきなのか解らなかつた。やっと数行「お疲れさまでした。頑張ってください」といった類の言葉を並べて帰った。厳しい事を言えばきりがいい。かと言って何も言わなければ進歩

もない。「部活動」という特殊な空間で、主役である学生達の気持ちを考えながら舞台づくりの後押しをしていくのは、考えただけで気が遠くなる程難しい。指導にあつた方々、スタッフとして支えた方々には頭が下がる。それでも、帰り際に客出しをしている高校生の笑顔が印象に残った。その笑顔を見ながら「ああ、高校演劇部の自主公演はこれでいいのかもしれないなあ」と漠然と思った。

芝居自体は、私には面白いとは思えなかつた。高校演劇のテーマと言えはまず頭に浮かぶのが「大人は解ってくれない」「幸せってなんだろう」「自分探し」の3つ。2本とも見事にこのテーマで創られていた。テーマ自体はありふれてはいるものの悪くないと思うし、芝居にする為の着眼点も良かったと思う。ただ、舞台という観せ物にするには仕上げが弱かつた。もう一工夫、二工夫あれば随分面白くなったと思うだけに残念だ。聞けば厳しいスケジュールを押し付けての公演だったそうなので、準備段階での不手際や、周りの人達へ掛けた迷惑もあっただろう。

それをねのけて……いや、あえて無視したのか？ それとも気付いていないのか？ いずれにせよ「自主公演をやるう」と思い立ち、やりあげた点は凄くと思う。しかし、そこからもう一歩前へ出ようとするのなら、もっともつと他の点にも目を向けなければならぬ。……いかに、また何を書けばいいのか、何を書いてあげればいいのか、何を書くべきなのか解らなくなってきた。高校演劇がこんなに難しいモノだとは思わなかつた。

ここまで書いてきて、はたと気が付いた。「厳しいスケジュールを押しての公演」「舞台という観せ物にするには仕上げが弱い」「準備段階での不手際や、周りの人達へ掛けた迷惑」……。全部自分にも当てはまるじゃないか!? まいった……。八戸の演劇部の高校生諸君！ もっともつと外へ出て、いろんなモノを観よう！ 芝居でも、映画でも、ライブでも何でもいい。じゃないと将来俺みたいになるぞ。積極的に情報を得て、い

9月のFriday Amusement Negative Shop

■9月6日(第448回) 安達良春プラスワンシアター「偽物」

■9月13日(第449回) 未定

■9月20日(第450回) 未定

■9月27日(第451回) 未定

※スペースベンでは、毎月曜日午後7時30分から、沼尾美也子さんによりジャズダンスレッスンを開催しています。一度見学にいらして下さい。

FANSでは、脚本を広く募集しています。何か表現したくても踏み出せないあなた、一度「物語」を書いてみませんか？ FANSでは、そんな方の思いを大切に舞台にのせてみたいと思っております。

「偽物」追加公演決定！

9月のプラスワンシアターは、いつものスペースベンでの公演6日(金)に加えて、7日(土)にも公演します。場所は市役所裏のそば屋「おきな」の並び「Saula Branche café」。美味しい食べ物とお酒を飲みながら気軽に楽しみたいという方にオススメ。

※関連記事P30グルメ

ひとりでも  
プラスワンシアター  
こはいかに

「偽物」  
作・演出/プラスワンシアター

■2002.9.6(金) 19:30～  
スペースベンにて

■2002.9.7(土) 22:00～  
saule branche caféにて

■料金両日とも500円